課題番号37

新規参入者の就農後定着支援

～　持続可能な地域農業の維持・発展のために　～

対象：就農5年未満の新規参入者（３戸）

１　活動の背景

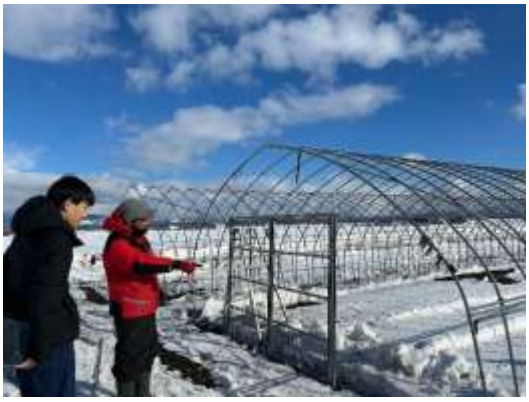
・雨竜町、北竜町では高齢化による担い手不足が問題となっており、農地の維持管理が困難になることで、耕作放棄地の増加が懸念されている。
・一方で、地域での取組に加え都市部からの移住希望者や農業への関心が高まり、新規参入者が増加傾向にある。
・新規参入者は意欲が高いものの、農業経験が乏しい場合が多く、基礎技術の習得に時間を要する。
・新規参入者が早期に技術を習得し、安定した経営を確立することは、地域農業の維持・発展に直結する。
・地域農業の活性化と持続可能な農業経営の実現に向け、体系的な技術支援を行う必要がある。

２　活動の経過

〇事前準備
・ハウス建設予定地の土壌断面調査の実施
・ほ場の勾配、排水性の確認、改善の提案

〇就農前の座談会の開催
・栽培に関するシミュレーション
・栽培に向けたスケジュール確認
・先輩農業者からのアドバイス

〇融雪状況の確認
・定植までの進捗状況を確認



〇栽培管理チェックシートの作成
・メロンとすいかの栽培管理チェックシートを作成し、本人と関係機関に配布

〇定期巡回指導
・関係機関と連携し定期的に個別巡回指導を実施
・関係機関との情報共有

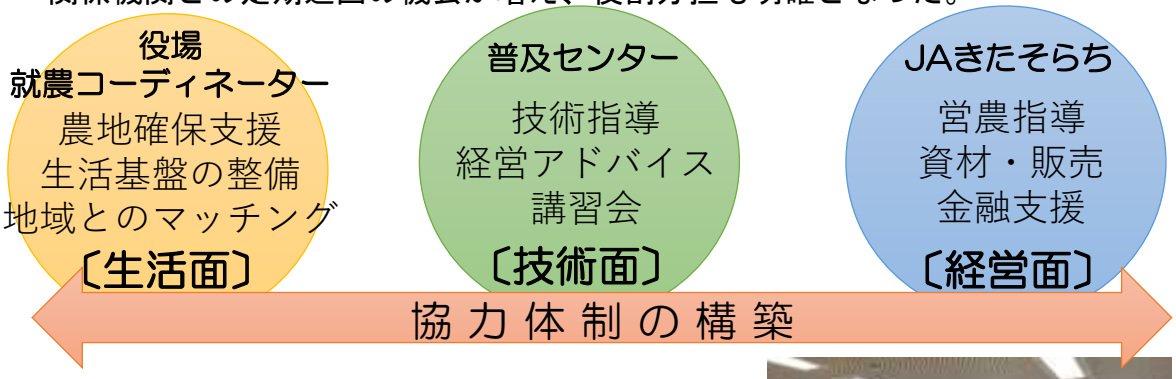
３　成果の具体的内容

就農開始時樹立の経営計画達成農家戸数

現況　　目標　　実績　:到達度
０戸 → ３戸 → ３戸（100%）

〇栽培管理チェックシートの活用
・農業者、関係機関、普及センター各々が生育ステージに応じて適切な管理が実施されているか、確認しやすくなった。
・作業の進捗状況が一目でわかるようになり、遅れている場合はすぐに改善を行なえるようになった。
・発生している病害虫にあわせた病害虫防除を実施することができた。

〇関係機関との連携
・関係機関との定期巡回の機会が増え、役割分担も明確となった。



４　今後の課題と対応

・次年度の営農目標の設定支援
・次年度新規参入予定者への支援
・指導農業士会との連携
・関係機関との調整